

## 高校生ICTConference2022サミット議事録（2班）

- 各代表発表のまとめ
    - メタバースを使うのはありなのではないか？
    - ICT機能によってコミュニケーションの壁を取り除く
    - 動画教育の利用
      - ビジネスに関する純度の高いビジネス用語の把握ができる
  - 提言の方針策定
    - オンラインの環境の整備によって壁を取り除く
    - バーチャルビジュアルによってLGBTとか多様性の受け入れ。自分たちで作って自分たちで参加する。
  - 問題点
    - 発言が難しい
    - インターネット間
    - 金（デバイス、
    - 情
    - 一般的に使えるように、普及する→自分たちで作る
    - オンライン授業が日常になる時のギャップを埋める
  - アイディア
    - システム設計を変えるのではなく、心持ちを変えるのがいいのでは？
    - 「すべきこと」とはどういうことだろう？
      - 今すべきこと⇔未来でできること？
    - 一律でICTに関わる技術を獲得できるようにする
      - 都市部と地方のデジタルデバイドをなくすべきだ！
      - ICT能力の違いがなければあらゆる問題が解決するのでは？  
→技術とは？力量？プログラミング？
  - 何をすべきなのか
    - 大人がICTをを教えるのではなく生徒が教えるのでも問題ないのでは
    - 他校の生徒のICT能力の高い生徒による専門知識などの授業、ワークショップの実施
    - 端末の普及率の上昇
    - 技術の定義
      - ICTを上手く使える技術？ リテラシーを身に着けるといふ文脈の技術？→前者のことである「テクニク」
- 技術が高くなれば個人ではなく全体の能力の底上げになる。
- 授業体制とか、設備を整えるのに現実に近い事業
  - 高校生がそれを作ろう
  - 技術を教えるのではなく、今技術についての知識はないから披露する必要はない。教えるべきに持っていくのではなく、作ってもらったものを提供してもらう。教え

てもらおう、作ろうじゃなくて、技術の知識を増やそうではなく、自分たちの問題解決法の道を作る。かな？

☆他校の生徒のICT能力の高い生徒による専門知識などの授業、ワークショップの実施をメインに作成する

- ・ 同じ目的を持つ人間が同じワークショップに参加する
- ・ 能力高い人がメインになってしまうが、分類わけを行う。